



### 練習を積み重ね雪辱誓う

前芝中学校ハンドボール部は3年生8人、2年生9人、1年生12人で活動中。夏の総体に向けて、チームは仕上げの段階に差し掛かっています。

取材をしていて「仲の良いチームだな」という印象を受けます。顧問の山田先生は、「前芝と

では、1点差で敗れ準優勝。「残り数秒で勝ち越し点を与え負けてしまったので、正直ショックを引きずっています」と主将の石原君。「でも、優勝チームとの差はほとんどないことも認識できたし、部員全員が今度は負けないという気持ちで一つにまとまったと思



に導く。数学の授業では、既存の教材だけでなく、数学用語のカードや、お菓子の箱を使って立体を学ぶなど、日常に結び付けて身近なものから数学

の力をつけるよう工夫している。数学が苦手な子には絵や例を挙げて、出来るだけ重点的に教えるようにしている。生徒からの信頼も厚く、悩み相談にのることも多い。生徒の気持ちをよく取りながら話を聞き、温かい信頼関係を築いている。

くみ取りながら話を聞き、温かい信頼関係を築いている。中学3年間で生徒たちは「未来」や「友人」など周回のこまで考えられるようになる。生徒には、自分の考えをしっかりと持ちながら、いい意味で周りに合わせられる「誰からも好かれる人になってほしい」と願う。プライベートでは昨年12月に入籍したばかりの新婦さん。7月の式に向けて休日は準備で忙しい。(片岡泉)

顧問の先生やキャプテンのコメントもありましたが、大きな紙面でしたので、一部のみ掲載させていただきました。

東日新聞 (5/24 掲載)

⑤ 5月24日(日) 2015年(平成27年) 第3種郵便物認可 東日新聞

せんせい

生徒たちに「自分を出る」と自信をつけ、適度なプレッシャーをかけて勝利

悩み相談にのることも「温かい信頼関係  
**岩瀬明美先生**  
豊橋市前芝中学校に赴任して6年目、数学教師の岩瀬明美教師(27)。3年1組を担任、中学、高校と打ち込んだ卓球の経験を生かして、女子卓球部の顧問を担っている。部員たちをクイック引っぱり、大会では

